

あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和5年8月

相談員 杉澤 琴美

観測至上最も暑かったと言われる7月が終わり、8月に入ると暑さも徐々に落ち着いてきましたね。今号では、収穫期を迎えたあうん農園の様子と、暑さ吹き飛ばす風流な夏の行事についてご報告します。

あうんの畑は収穫期に！



あうん畑のモットーは『見える×魅せる』畑作り。利用者さんが室内の窓から眺めて楽しんでいただける構図で配置しています。また、利用者さんが気軽に入って一緒に作業しやすいよう、広めの通路に防草シートを敷いています。

苗や種の植えつけは、その日の利用者さんに参加していただきます。「あなた、しっかり育ちなさいよ！」と優しく声をかけていただきながら植えられた苗たちは順調に成長、7月にはズッキーニやキュウリ、インゲンなどが毎日たくさん収穫できるようになりました。

収穫した野菜はすぐに食卓へ。獲れたてを味わって、皆さんには心も体も元気になっていただきます。ズッキーニやキュウリは成長著しいので、ほぼ毎日のように食卓に登場しています。飽きることなく楽しんでいただけるよう、調理法も日々研鑽していますよ。

そしてあうん畑で最も存在感を発揮しているのが『夕顔』です。畑から2階の窓枠までつながったロープを伝ってツルを伸ばし続けています。毎年2株植えていましたが、去年は重みに耐えきれず台風で崩れてしまうという悲しい終焉を迎えました。今年は軽量化重視で1株のみでの挑戦。…が、やはり1株だと実の付きが悪いのでしょうか、成長してくれた実は1本だけなのです。物足りない…！

毎日利用者さんたちから見守られながら成長を続け、8月14日現在で58cmまで成長しました。去年の記録は70cm。今年はどこまで大きくなれるのでしょうか？乞うご期待です！



七夕祭り



端午の節句や桃の節句と並ぶ日本伝統の五節句のひとつ、七夕の節句。古くは中国でお裁縫の上達を願う年中行事を由来とし、のちに芸事全般の上達を願う行事として現在まで受け継がれてきました。子どもたちが「ろうそく出せ出せ♪」と家々を回ってお菓子をもらって歩いた思い出がある利用者さんも大勢いらっしゃいますね。

あうんでは昨年に引き続き七夕飾りを製作、五色の短冊に皆さんの願いを書きいただきました。ご家族の幸せを願うもの、ご自身の健康を祈るもの…色々とお出しましたが、今年特に目を引いたのは、今はもう会えない方に対する想いでした。

若くして亡くなられたお父様お母様、長く添い遂げた伴侶の方。夢にでも出てきてほしいのに会いたい人ほど出てきてはくれないとお話しになります。想いが強いほど、余計に遠く感じてしまうのかもしれない。

皆さんに書いていただいた短冊は、七夕の夕方にお焚き上げして空へお届けしました。きれいな快晴の日でした。きっと願いは空の上まで届いたことでしょう。



日々の食卓より



七夕の日の昼食は、七夕にちなんだ行事食でした。カレーやそうめん、天の川を、オクラや型抜きの人参で星空を表現しています。ちょっとボリューム多めでしたが、カレーやそうめんは意外と量を食べられるものですよ。星空をきれいにおなかに収めました。



天の川カレー
七夕そうめん、大根サラダ

こぼれ話

あうんの入浴は個別浴。更衣から入浴、身だしなみまで職員がマンツーマンで行っています。2人きりの空間で、利用者さんたちは様々なお話をして下さいます。若い頃の思い出や、お仕事のこと、ご家族のこと、心の内に秘めたこと。

そんな中で、最近最も胸にズキーンと刺さった名言をご紹介します。「感謝することは大事。それは誰のためでもなく、自分のためなんだよね」

人生の大先輩との出逢いに、私たちは日々、とても感謝しています。